

# 黄城

Ojo News Letter Vol.42

## CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	2
会長挨拶・母校の近況	5
合格だ！優勝だ！	6
各支部総会報告	8
卒業50周年を祝う	10
後輩からの一言	11
投稿・トピックス	12
黄城会総会を終えて	14
役員一覧・物故者・寄贈	15
事務局通信	16

発行▶平成24年7月1日

発行所▶黄城会

発行人▶岩松 要輔

印刷▶(株)音成印刷



村上 徹 氏

株式会社ユース

常務取締役・大阪代表

特集 ようこそ先輩!!

我が人生の足跡  
苦労も修業。

小城高校黄城会会報黄城（通算42号）の巻頭特集「黄城人」は現在株式会社ユース常務取締役・大阪代表であられる村上徹さん（高校19回）の登場です。今年5月2日に小城高校で開校記念の一貫として行われた記念講演の内容です。題して「苦労も修業・我が人生の足跡」これまでの体験に基づいた講演内容をじっくり読んでみませんか。

紹介いただきました、村上と申します。昨日、校長先生に会いに夕方3時半に行った時に、皆さん方の明るい「こんにちは」と、初めて会ったにも関わらず、キラキラ輝く目で言われました。

先生方のご指導ですね、挨拶がいいなということで、久しぶりに母校に来て感心しました。他の高校はここまでないんじゃないかと。皆さん、おおいに自信を持って頑張ってもらいたいと思います。

## 団塊の世代に生まれ

私は芦刈町出身で昭和23年6月27日生まれ63歳です。我々の時代は、23年生まれが246万人いるんですよ。昭和22年、23年、24年は団塊の世代と言って、この3年間で730万人いるんですよ。前後合わせて5年間で1千万を超える。日本の人口の約1割がこの5年間で集約されています。

この1千万人の年金を払うため、今、非常に国が困っているという状況です。昨年の出生数をみますと、107万人しか生まれていないんですね。我々の時の半分以下という状況と、去年の出生率が1組の夫婦で1.39ということで2を大きく下回っているんですね。

我々は、11クラス。1クラス55名で591名の同級生がいました。皆さん方は6クラスで1クラス40名ということで1学年240名、3年生合わせて709人ですから、少なくなったなということを実感できます。

私は高校を出た時に親の仕送り大学をと予定していましたが、自分の力で大学出れる道があるということで、読売奨学生として昭和42年の3月25日に、今から45年前ですけど、涙涙のばあさんや親父、兄貴に見送られて、佐賀駅から寝台特急桜



号に乗りました。3段ベッドの、一番上のベッドでしたけど、すぐ寝たら朝のうちには東京に着きました。

大学に入った喜びと自分の力で大学出なければならぬという不安が非常に交錯していましたが、読売新聞経営の読売ランドでこれからの生活の具体的な注意等の合宿があったんです。

## 読売新聞配達と勉学と

朝3時半に起きて、チラシと組んで350部の配達をして6時半に終わって、早く配達が終わった人から朝ご飯を食べて大学に行く。大学では9時から3時半までの授業。また終わったら東京は夕刊がありますから、夕刊を4時半から配ると。月末は集金。当時は750円の新聞代でした。

柔道の夏の合宿とか猛練習から比べたら肉体的にはそんなに苦痛じゃない仕事でした。そして勉強と仕事と遊びと一人3役位の生活をしました。

そんな生活を春夏秋冬4回繰り返しました。今は、私立の大学の授業料が年間100万します。4年間で400万、入学金まで含めたら500万円くらい大学費がかかるんですけど。我々の時も150万を全部、読売新聞が出してくれました。

私も結構、要領がいい方で、頑張りまして、「優」が18個ありました。そして、卒業式を日比谷公会堂で行いました。430名の卒業生を代表して私が挨拶しました。「様々な思い出を残して、喜怒哀楽を織りなした4年間のドラマがここに終わろうとしています」という冒頭の挨拶から始めまして、同時に全国高等学校校長を代表して小城高校の円城寺先生に話ししてもらって予定でしたが、急きょ先生に不幸が入って、代理として小城高柔道部の牧一興先生に祝辞の挨拶をしていただきました。

小城高が恩師代表と卒業生代表として、日比谷公会堂で燦然と輝く瞬間を迎えたことは非常に幸せでした。

その日の夕方には日本テレビ系列でその瞬間が放映されました。

元々読売奨学生になった動機は牧

先生から「お前達は体は鍛えたから、今度は頭を東京で鍛えてこい。福岡や大阪に行くより東京がいい」と。

「4年間やったら読売新聞の授業料が全てもらえるんだと。読売新聞は読売ジャイアンツを持つ、立派な新聞社だから心配いらない。4年後卒業証書をさかになに一杯やるのが楽しみだ」という先生の鶴の一声で小城高から7人、読売奨学生に受験しまして、5人が合格して晴れて大学生活が始まりました。

青春のひと時を勤労学生として、仕送りもなく、学費から生活費まで全部でき、非常に恵まれていました。また、義理と人情が苦学生に対してあった時代でした。

非常に眠かったが、大学の先生はだいたい始業時間に10分くらい遅れてくるんですね。移動時間が10分ありますから10分くらいゆっくり寝れるんです。

10分の睡眠で全部、頭の中がきれいになりますので、睡魔をおっばらって、人間その気になればどれだけでも工夫ができるもので、自信を持っています。

恋あり、酒あり、勉強あり、遊びありの濃厚な青春を過ごしまして、1年間は柔道同好会に入って講道館で試合もしました。読者からのプレゼントももらい、家庭教師で結構高い謝礼をもらったりしました。

「嫁にうちの娘をもらってくれよ」というおやじさんがいたりして、今思えば非常に懐かしい思い出です。

新宿区の音羽販売店に入る時に所長から作文を求められましたので「ああ神よ、あらん限りの苦勞と苦難を我に与えたまえ。そしたらあなたに素晴らしい愛を返してあげましょう」という決意の言葉を所長に渡したら、それから11年後、私の結婚式の時に前田所長がその文章を祝辞の中で皆さんに披露して、喜んでくれました。

卒業式には前の日から親父も来てくれていて、東北沢の叔父貴の豪邸で豪快に酒を酌み交わしました。

もちろん、牧先生も来てくれました。

### 晴れの卒業式

卒業式典には読売新聞の販売の神様と言われた務臺光雄社長はじめ、読売の幹部が右側に、牧先生と父兄代表が左側に座っておられました。

私の挨拶が終わると牧先生に握手を求めて行ったら「社長が先だろ！」と促されて務臺社長の分厚く、温かい手と強く握手を交わしました。

他の役員の方皆さんも全部求められ、全員と握手したわけです。

卒業式の記念講演としては皆さんご存知か分かりませんが、森繁久彌さんが「人生旅立ちのはなむけ」と非常にいい話をしてくれました。

もやしはすぐ芽が出るけど、ぼつとひっぱったらすぐ根が抜ける。栗の木はなかなか芽が出るまで時間がかかるんだけど、やっと芽が出た時にはずっくり根を張っていると。

そういう生き方しなさいよと言われた事を、今でも思い出します。

その時に森繁さんの作詞作曲による「知床旅情」の元歌を時間を大幅にオーバーして歌って我々を祝ってくれました。

その翌日から、読売新聞社でヨーロッパセミナーというのが東京から30名、大阪から10名、計40名の大所帯でいきました。

羽田を飛び立って、当時はアンカレッジ経由で行きました。アンカレッジはマイナス20度でしたね。それからロンドンに着いて、パリ、ジュネーブ、ローマ、ベニスとヨーロッパを回りまして歴史の重厚さとローマの休日とか映画でしか見れないような所を見れる不思議な感覚と、毎晩、演歌を歌って宴会ばかりやっていたから、向こうのカンツォーネとよく似ていると誉められたこともあります。今でも忘れられない財産になっています。

豊かなヨーロッパから離れまして、帰りはインドのニューデリー経由で帰ったんですけども、海外旅行で一番思い出に残っているのが、インドです。ニューデリー空港から

下りたらホテルまで路上でゴロゴロ寝てるんですね。もう、それはびっくりしました。

### 銀座の恋の物語

貧富の差が激しいのに非常に驚いたのと、アンカレッジはマイナス20度、インドは30度くらいありまして、世界の広さというのを体験しました。

それから昭和52年11月27日に結婚式を明治記念館でやりました。29歳でした。丸山巖読売新聞社の副社長の媒酌でした。司会は千葉仁（まさし）さんという警視庁の先生で、今まで全日本大会に10回でて、5回まで決勝に行かれて、3回優勝されているというすばらしい先生です。読売新聞に宮本武蔵か千葉周作の再来かと言われたんですけども私は剣道やっていたら恐れ多くて頼めなかったんですけど、幸い柔道でしたから。先生とうちの女房もそうですけど、銀座にカローラってお店がありまして、歌いながらお酒を浴びるところでしたね。

妻とは銀座の恋の物語でお互い酒も歌も好きでした。遠慮なく千葉先生に結婚式の司会を頼みました。

東京読売会の池川会長とユースの久松社長に、あいさつをしてもらいました。

総勢250名の結婚式で当時のお金で親父がボンと60万、だしてくれました。翌年53年9月に長女が、56年に長男が、59年に次女が3年刻みで生まれまして、出産は聖路加国際病院100歳で現役の有名な日野原先生

ですけど。そこに3度赤いバラを女房に届けたわけです。

特に長男は10月25日の日曜日に生まれまして、朝早く顔を見て、昼には読売巨人が日本一になったんですよ。夕方には川崎で友人の結婚式がありまして、喜び三重奏の一日でした。

大学の4年間を奨学生として過ごして読売新聞と深く関わったものですから、就職どうするかなという状況があったんですけど、叔父貴が社長をやっている会社に行くか、それともこれからスタートする新しい業界の革命をやるユースに入るか悩みましたけど、ユースに入りました。

読売総合販売株式会社と英訳の読売ユニバーサルセールスサービスカンパニーのY U Sの頭文字からユースと命名した訳です。

当時は電話を頼んでも2、3か月待たないと電話が入らないんですね、急な用があったり、冠婚葬祭の連絡が田舎からあったらせひうちの店にと、電報代わりに使ってくださいと言ったら人気が出まして。

少年野球チームとか新春マラソン大会とか、囲碁クラブとか色んなイベントを矢継ぎ早にうちまして、あつと言う間に小金原の市場の50%はマーケットシェアを固めることができました。

私は最初は人事から入りまして、後輩の4期、5期生の中から一緒に店を探すのと、全国の高校を巡りまして8期生という、新しい高校3年



生を説明をして同じ夢をつないでいったわけです。その時、会社のユースのテーマソングがなかったものだから、私が作詞をしました。春夏秋冬の「燃えよ青春」です。

組織を作って最初に3つの大きな目標を立てました。1つは新聞業界の近代化をやっつけよう、2番目は全国に展開して行こう、3番目は新規企業に発展させようという3つの目標をもちまして、3つともほぼ達成しております。

現在は140店舗全部に無料の託児所を設けて地場から来る若いお母さんが働きやすい環境を作っています。

ISO9001は品質管理ですが、2003年に取得しました。2005年には個人情報情報の受諾証もとって、プライバシーの厳守ということで品質の向上に努めております。

直近のこの15年は私は東京から大阪に単身赴任しまして浪速の人情豊かな人たちと接しております。

大阪に行った時は6万部しかなかったんですけど、今は倍の12万部に組織が拡大できて、お店の数も18店から38店に発展させることができました。いった時には下の子が小学6年生でした。京都、神戸、奈良に行き、子ども達との思い出を多く作りました。

2番目の目標の全国区は関東、関西、福岡、北海道、そして今、香港にも出しております。全国展開しております。3番目の多角経営はトイレトーパーからエレベーターまで扱ってやっております。今現在、産地直送も扱ってまして、非常に一番人気は明太子ですね。博多の明太子が北海道でも一番売れるという状況です。

人生の結果としまして東京中央区に3階建ての1軒屋も持てて、子どもたちを大学も出せて、良かったと思います。

### 悲しい思い出

ここで皆さんと同じ高校1年生の時、悲しい事件がありまして話すか迷いましたが、話します。

昭和39年6月9日、2時間目の授業が終わった時、担任の牧先生が「村上、お母さんが病気らしいからすぐ帰れ」と言われたので「どこが悪いんですか？」と聞いたら「いや、分かんない。すぐ帰れ」と言われました。

小城から芦刈へは下りなので自転車もスピードが出て、牛津の天満町から1本道ですから、あと200mと来た時、家の周りにやたら人が多いんです。これは病気じゃないなと思いましたが、交通事故でした。

即死状態でした。家に入ったら近所のおばさんが白いエプロンを着て、早く病院にいきなさいということで病院に行ったわけですけどね。

病院から帰ったら今朝、おふくろが作ってくれた弁当が出てきましたね、どういう思いで弁当作ったかなと思ったら一気にこらえた涙が出た思い出がありました。

その時の気持ちを、大学ノートの2ページにずーっとおふくろの思い出を書いたら、不思議と心が安定した時間を持てたことをつい、昨日のように思い出します。15歳の最後の6月でした。

今の平成天皇で125代目なんです。

みなさんにはお父さん、お母さん、1人ずついますよね。で、お父さん、お母さんのおじいちゃん、おばあちゃんが4人いるよね。ひいじいさんというのは8人いる。これを10代遡ると何人なるかと1024人になるんですよ。

30年で世代交代すると300年。そのうち一人でも欠けていたら皆さんここには存在しないんですね。その天皇制は2700年という膨大な歴史をつながっているという奇跡を思うとこの国の大切さも非常に伝わってきます。鹿児島県の教育方針が3つあります。薩摩藩のね。1つは負けるな。2番目は嘘をつくな。3番目は弱いものをいじめるな。このシンプルな3つが今でも脈々と薩摩藩に流れております。それと「泣いて笑って100まで生きよ！」

泣く時はシクシク泣くでしょ？シ

クということは4×9=36、笑うのはハハと笑うので8×8=64、足せばちょうど100になるんですよ。だから感情を表にだして、悩まないで泣く時は泣いて、笑う時は笑っていけば少なくとも100歳まで生きられます。

そして皆さん方、どっちか道を迷うとき、AにするかBにするか迷う時は、迷わずに難しい方を選んでください。難しい方を選択すればそんなに難しくなくなります。最初から易しい方を選んだらそれ以上の発展はありません。

先生とか上司、多くの先輩に恵まれていい人生を歩けたのと、人間は1人じゃないという強い感謝をもって今、生きています。東京中央区に住吉神社があります。地下鉄の月島です。神社の隣に村上という表札があります。3階建てのね。皆さん方がディズニーランドや東京見学に来た時に来てください。そしたら400年経ってる佃煮屋さんがいますから。佃で煮たから佃煮と言うんです。

その佃煮をお土産に持たせるか、すぐ月島はもんじゃ屋さんが100軒くらいありますからその中で一番美味しいもんじゃ焼きをごちそうしますから遠慮せずに、ぜひきてみてください。

18、17、16、15歳が一番良い時代です。これから、皆さん無限の可能性があるので、大きな夢を持って、「よし！日本を俺が変えてやる！」くらいの覚悟で小城高校のOBになった時も頑張ってもらいたいと思います。

### Profile

村上 徹 (63歳)

小城高等学校 昭和41年度卒業  
(高校19回卒)

昭和46年3月 日本大学法学部卒業

4月 ㈱ユース入社人事担当

平成9年7月 ㈱ユース大阪  
常務取締役営業担当

現在 株式会社ユース  
常務取締役・大阪代表



## 黄城会活動のこころ

黄城会会長  
岩松 要輔

平成24年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。

昨年は、3月11日に起こった大地震と津波による東日本大震災は未曾有の被害と衝撃を我々に与えました。その復旧・復興の道は混沌としたものがありますが、一年余りたった今日少しづつではありますが、前進が見えますのはわれわれ国民のたゆまぬ取り組みの結果からだと思えます。黄城会といたしましても、会員の皆様のご協力を得て、寄付・支援を行ってきたところであります。

福島原子力発電所の爆発事故に関しましては、今後の原子力発電についての是非や残存

放射能対処、被害保障など難しい問題が山積しています。福島原子力発電所内の爆発直後の復旧工事は困難を極め、東京電力職員、警察官、消防士、自衛隊員などの献身的な復旧活動により今日に至っております。去る2月3日付けの佐賀新聞の記事によりますと、陸上自衛隊中央即応集団の宮島俊信氏は、総合的な指揮に当たられ、指揮官としての孤独に耐え、全責任を負うという覚悟で対応されていたといいます(昨年8月退官)。宮島氏は、小城高26回卒業生であり、「その性格は18才まで過ごした小城の田舎町で育まれたように思う」と語っておられます。同窓生の一人が、国難とも言うべき大事故に向かって献身的な取り組みをなされていたことに頭が下がる思いであります。

さて、今年度の黄城会総会は、「心はひとつ～繋～つながる黄城魂」のスローガンのも

と、香川弘行実行委員長を中心として新高39回卒業の皆様のご尽力で素晴らしい会合となりました。総会行事のあと第2部の黄城の集いで、高校14回卒業・本校定時11回卒業の皆さんの卒業50周年祝賀が行われましたが、ご同慶にたえません。第3部のアトラクションでは、「小城太鼓」、「小城高校吹奏楽・合唱部」、「織田祐輔歌謡ショー」が行われ、楽しい時間となりました。恒例の饅頭会も盛況でした。

現在日本が置かれている状況は閉塞感に満ち、国内的にも国際的にも多様な問題について解決を迫られております。このような時、同窓の絆を強め、後輩を支援していくという黄城会活動は、将来に向けて日本の発展のひとつの基礎になると思えます。しっかり取り組んで行こうではありませんか。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓諸兄姉のご清栄を祈念申し上げます。



## 母校の近況

校長  
内野 安成

### 1、天山登山と同窓会総会

4月27日には素晴らしい天候に恵まれ、恒例の開校記念天山登山を実施することができました。普段歩く機会が減り自然とふれあうことが少ない現役高校生諸君にとって、自然を満喫し、自己の体力と気力と知力を鍛える最良の機会となりました。生徒諸君の97%が上宮まで到着、78%が山頂まで登頂することができました。PTAの関川会長様をはじめ役員・女性部の皆様には上宮駐車場で給水活動をしていただき、生徒諸君も、私をはじめとする職員一同も本当においしいお茶をいただくことができ、感謝申し上げます。

黄城会総会前日の記念講演では、高校19回卒業、株式会社ユース常務取締役村上 徹様より「苦労も修業・我が人生の足跡」という演題でご講演いただきました。村上様は本校では柔道部に所属し、大学時代は読売新聞奨学生として努力され、現在の会社に入り自分の人生を築いてこられたことをお話しいただきましたが、生徒諸君の感想には「苦労を苦労と言わず、努力を継続された姿に感動しました」、「高校時代に交通事故でお母さんを亡くされたのに、一生懸命努力を続けられたことを尊敬します」と言った率直な感動がたくさん書かれていました。わずかな謝礼を準備しましたところ、村上様からはその倍以上の金額を母校の後輩のために役立ててくださいと贈呈いただきました。本当に有り難く感謝

申し上げます、活用させていただきます。

5月3日の黄城会総会には、旧制中学校・旧制高等女学校の先輩をはじめとして1,057人のご参加をいただき、高校39回卒業の当番幹事の皆様のご尽力で、素晴らしい総会が実施できましたことを心より喜び申し上げます、また感謝申し上げます。

### 2、学力と進路実現

こうした本校教育への幅広いご支援は他校にない小城高校の強みであります。お蔭様で、今年度の進路についても厳しい状況の中で踏ん張りました。国公立大学は現浪合わせて78名の合格でしたが、大阪大学・九州大学等の難関大にも継続して合格者を出すことができました。私立大学では、304名の合格でしたが、特に東京理科大学4名、同志社大学1名、西南大学10名、福岡大学77名に示されるように伝統校への合格者が増えました。短期大学15名、高等看護学校・医療系専門学校26名、その他の大学校等14名の諸君も最後まで全力で進路実現を図りました。就職でも、自衛隊2名をはじめ警察・九州電力・牛津蒲鉾・美容師・東芝EMIへ7名の進路実現ができました。高校3年時点での進路実現については、こうした結果ですが、生徒諸君が現在の結果をしっかり受け止め、自信を持つと同時に、反省工夫を重ねて、次の進路先でも知力・体力・人間性を磨き続け、黄城魂を磨き社会貢献ができることを期待し、お祈りしています。

### 3、部活動・生徒会活動・ボランティア活動等について

部活動では、運動部指定校枠をいただいた女子柔道部は、高校総体での優勝、個人戦で

の優勝も輩出しています。男子柔道も個人戦で躍進を続け、全国柔道選手権では、土井康孝君が全国5位入賞を果たしました。また、バドミントン部の、高木・福島ペアは総体ダブルスで2位入賞を果たしました。他にも、弓道部、テニス部、剣道部等もベスト4以上に残る力をつけてきています。

文化部では、合唱部が県コンクールで金賞を受賞し、今年富山県で開催される全国総合文化祭に出場することになっています。書道部は全日本高校書道コンクールで部門最高賞に光石夏澄さん、古賀春香さんが入賞、準部門賞に14人が輝き、団体賞優秀校の第2位に輝きました。書道部・放送部からも全国総文祭に出場が決定しています。

こうした成果だけでなく、本校では、早朝に生徒会・柔道部・野球部を中心に学校周辺の清掃活動を行っています。また、吹奏楽・合唱部による施設訪問、図書部の読み聞かせ活動等が盛んになってきました。天山登山でも、自分で家から火はさみを持参して登山道のゴミ拾いをする諸君もいます。社会貢献を実践する心と行動に深く感謝します。

結びに「文武一途を旗印に、オンリーワンを社会貢献のできる優れた人材へと育む」というスローガンが実現できる教育環境に恵まれ、支援いただく保護者・同窓会・地域の皆様のご理解、本校教育に献身的に尽力いただく先生方、そして何より素直で真面目な生徒諸君に感謝しながら、微力を尽くし、さらなる前進を目指します。どうぞお立ち寄りいただき、御叱正・御指導ください。



# 合格だ!優勝だ!

平成23年度  
学業報告・部活動の成績

## 平成23年度合格状況

**【国立大学】** 茨城大学1 / 大阪大学1 / 広島大学1 / 山口大学6 / 香川大学1 / 九州大学2 / 九州工業大学2 / 福岡教育大学1 / 佐賀大学31 / 長崎大学6 / 熊本大学4 / 大分大学2 / 宮崎大学3 / 鹿児島大学3 / 琉球大学1

**【公立大学】** 県立広島大学1 / 下関市立大学3 / 高知県立大学1 / 北九州市立大学2 / 福岡県立大学2 / 福岡女子大学1 / 長崎県立大学3

**【私立大学】** 大東文化大学1 / 拓殖大学1 / 駒澤大学1 / 芝浦工業大学4 / 国際医療福祉大学3 / 青山学院大学1 / 東海大学3 / 東京理科大学4 / 神奈川大学1 / 中京大学2 / 同志社大学1 / 立命館大学7 / 近畿大学5 / 関西学院大学1 / 龍谷大学3 / 広島工業大学2 / 九州産業大学14 / 久留米大学30 / 西南学院大学10 / 中村学園大学4 / 福岡大学77 / 福岡工業大学16 / 福岡女学院大学2 / 筑紫女学園大学6 / 久留米工業大学2 / 九州女子大学1 / 西九州大学20 / 長崎総合科学大学1 / 活水女子大学5 / 長崎国際大学4 / 崇城大学9 / 熊本学園大学1 / 日本文理大学3 / 立命館アジア太平洋大学1 / その他の大学58

**【短期大学】** 私立短期大学15

**【その他】** 文科省外大学3 / 高等看護学校14 / 医療系専門学校12 / その他専門学校11 / 就職7

## 平成23年度部活動の成績

### 【運動部】

#### 1. 柔道部

○第49回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体優勝 / 女子 48kg級 第1位 酒井あかり (九州・全国大会出場) / 63kg級 第1位 篠原千穂 (九州・全国大会出場) / 70kg級 第1位 永田睦 (九州・全国大会出場) / 78kg級 第1位 辻村梨那(九

州・全国大会出場) / 男子 81kg級 第1位 宮崎雅也 (九州・全国大会出場) / 73kg級 第2位 土井康孝 (九州大会出場)

○平成23年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技 / 女子団体 第1位 / 男子団体 第2位

○平成23年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技 / 個人 第1位 辻村梨那 / 第1位 永田睦 / 第1位 篠原千穂 / 第1位 土井康孝 / 第3位 中村駿 / 第3位 酒井なつみ

○第15回九州高等学校新人柔道大会 / 第3位 土井康孝



柔道部

#### 2. バドミントン部

○第23回佐賀県高等学校生徒春季大会 / 個人ダブルス 第2位 高木俊充・福島将

○第49回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第3位 / 男子団体 第3位 / 個人ダブルス 第2位 高木俊充・福島将 (九州大会出場) / 個人シングルス 第1位 高木俊充 (九州・全国大会出場)

○佐賀県高等学校生徒バドミントン競技学年別大会 / 第2位 福島将

○平成23年度佐賀県高等学校新人体育大会 / 女子団体 第3位 / 男子団体 第3位

○平成23年度佐賀県高等学校新人体育大会 / 男子ダブルス 第2位 福島将・山口健太

○第12回全九州高等学校バドミントン高鍋大会 / 男子3部リーグ 第1位 団体 / 女子2部リーグ 第3位 団体

○第38回佐賀県総合バドミントン選手権大会 / 男子ダブルス 第3位 山口健太・福島将

#### 3. ソフトテニス部

○平成23年度佐賀県地区高等学校春季大会 / 男子個人 第3位 天山弘覚・佐々木流成

○第49回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第4位

○佐賀県ソフトテニス高校新人大会 / 女子団体 第3位

#### 4. 水泳部

○第49回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子200m平泳ぎ 第3位 松尾麻友香

○平成23年度全九州高等学校選手権新人水泳競技大会出場 / 50mバタフライ 下村昂康 / 50m平泳ぎ 山口翔

#### 5. 剣道部

○第46回佐賀県高等学校春季大会 / 女子個人 第3位 円城寺楓

○第49回佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 第4位

#### 6. 弓道部

○第3回孔子の里弓道大会 / 優勝 相良真衣 / 2位 相川竜也

○平成23年度佐賀県高校春季大会高取杯 / 男子団体 第3位

○平成23年度佐賀県高校弓道1年生錬成大会 / 男子個人 第2位 熊崎大地

#### 7. テニス部

○平成23年度第39回佐賀県高等学校学年別テニス大会 / 1年女子シングルス 準優勝 石倉幹子

#### 8. 社会体育

○第21回九州地区選抜空手道選手権大会 / 準優勝 島隆聖

### 【文化部】

#### 1. 吹奏楽・合唱部

○第66回九州合唱コンクール佐賀県予選 / 金賞 団体 吹奏楽・合唱 (九州大会出場)

○第52回佐賀県吹奏楽大会 / 銅賞 (団体)

- 第35回全国高等学校総合文化祭／文化連盟賞 内山翠・野田有季乃
- 第35回佐賀県高等学校音楽コンクールピアノ部門／銀賞 納富まり・半野由紀／銅賞 前田梨恵
- 第66回九州合唱コンクール／銅賞 団体 吹奏楽・合唱
- 第23回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会／混声合唱奨励賞 団体／佐賀県高等学校合同バンド賞 団体
- 第37回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／銅賞 団体
- 第17回佐賀県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル／ボーイズ・ビー・アンビシャス賞 団体



吹奏楽部

## 2. 書道部

- 第19回佐賀県書道展／新人賞 山口亜祐／優秀賞 古賀春香・辻千恵・原口ゆり子・平由宇・上野明音・池上綾佳・高井里佳・大崎美和・武富佑香・江頭果奈／※古賀春香（全国大会出場）・野崎千里（九州大会出場）
- 第36回佐賀県書作家協会展〔高校生の部〕／県書作協会賞 古賀春香／特選 野崎千里・原口ゆり子・永田唯華・高井里佳
- 第63回佐賀県高等学校席書大会／特選 野方理沙・野崎千里・光石夏澄・江頭果奈・刈野木杏奈・永田唯華・上野明音・大久保夏輝／奨励賞 6名・秀作15名
- 第40回四国大学主催全国高校書道展／四国大学文学部長賞 大塚はるな／特選12名・準特選15名
- 第10回岐阜女子大学全国書道展／書道展賞 古賀春香・江頭果奈／奨励賞 平山亜樹／優秀賞 9名・秀作

- 賞 9名・努力賞 8名
- 第22回中林梧竹翁顕彰席書大会／梧竹記念館賞 光石夏澄／小城市長賞 野崎千里／奨励賞 4名・秀作 8名・佳作15名
- 第39回佐賀県書道教育連盟主催七夕書道展／J A 共済連佐賀賞 江頭果奈／特選 古賀春香・辻千恵／奨励賞 3名・秀作 5名・佳作18名
- 第23回佐賀県高等学校総合文化祭書道展／特選 光石夏澄・江頭果奈・刈野木杏奈・高井里佳／奨励賞 8名
- 第6回尚綱大学高校生書道展／特選 辻千恵・上野明音／準特選18名
- 中林梧竹翁顕彰書道展／梧竹顕彰会賞 古賀春香／トロフィーさが賞 光石夏澄／特選 原口ゆり子・山口亜祐／奨励賞 3名
- 第33回読売学生書展／特選 古賀春香・野方理沙・辻千恵／秀逸賞 3名、金賞 3名、銀賞 9名、銅賞11名
- 第36回佐賀県高等学校臨書展／特選 古賀春香・野方理沙・平由宇・光石夏澄・江頭果奈・刈野木杏奈・嶺川真由・木塚美咲・阿部佳央梨・大久保夏輝／奨励賞10名
- 全日本高校書道コンクール／部門最高賞条幅の部 古賀春香／準部門最高賞 古賀春香・野崎千里・山口亜祐・原口ゆり子／準部門最高賞条幅の部 辻千恵・平由宇



書道部

- 第57回書初書道展覧会／特選 平由宇／秀作 4名
- 第57回佐賀県書道教育連盟主催書初書道展／県教育長賞 池上綾佳／J A 共済連賞 光石夏澄／特選 刈野木杏奈・上野明音
- 第17回全日本高等学校書道コン

- クール／団体賞「全国優秀賞」
- 平成23年度高田保馬博士顕彰記念書道コンクール／金賞 光石夏澄／銀賞 富永冨保／銅賞 3名

## 3. 美術部

- 第64回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 有瀬浩美／奨励賞 副島彩花・上山尚子
- 国際中等学生美術公募展／銅賞 中田夕香子／銀賞 上山尚子／特選 城島麻子
- 第23回佐賀県高等学校総合文化祭美術工芸部門／準特選 上山尚子
- 第50回佐賀県高等学校デッサンコンクール／準特選 上山尚子

## 4. 放送部

- 第58回NHK全国高校放送コンテスト佐賀県大会／奨励賞 朗読部門 牧口千音美
- 第58回NHK全国高校放送コンテスト佐賀県大会／奨励賞 アナウンス部門 納富まなみ
- 第35回佐賀県放送コンテスト第23回佐賀県高等学校総合文化祭放送部門／アナウンス部門優良賞 納富まなみ／朗読部門優良賞 牧口千音美／朗読部門奨励賞 酒見優希
- 平成23年度アバンセ杯放送コンクール／優良賞アナウンス部門 納富まなみ

## 5. その他

- 第64回佐賀県児童生徒理科研究発表会／特選 理振会長賞 白石博貴・下村昂康／特選 玄海町賞 草野大輔
- 第57回青少年読書感想文コンクール／最優秀賞 田中七海
- 佐賀県学校図書館教育研究会／優良賞 福島風沙・江口敦子・木下しおり／佳作 川崎稔真
- 平成23年度九州高等学校生徒理科研究発表会大会／優秀賞 草野大輔
- 第57回青少年読書感想文佐賀県コンクール／佐賀県代表作品賞 田中七海
- 第57回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部／入選 田中七海

# 支部総会報告

2011年度



## 関東支部

10月15日 於銀座アスター お茶の水賓館 100名  
今年も川副事務局長（高32）の開会宣言でスタートしました。

吉村支部長（高6）の挨拶に続き、黒澤副支部長（高12）のバス旅行、齊藤副支部長（高7）の会報、楢崎幹事長（高14）の会計、各報告の後江里口会計監事（高7）の監査報告が行われ、拍手をもって承認されました。

議事終了のあと、内野校長から、現在の小城高校の生徒たちが伝統と躍進を胸に、文武両道で活躍している様子が伺えました。七田副会長（高15）から、3月11日の震災に対するお見舞の言葉を頂戴しました。次に、久本中京支部長（高11）がプロ野球にまつわるユーモラスでしゃれのきいたお話で会場を沸かせました。その後、黒澤副支部長から新入会員で高校63回嘉村友斗君の紹介があり、とても頼もしく見えました。



第二部黄城の集い（懇親会）は高校39回の江頭孝康、大坪加代子の司会で、乾杯を最長老の石盛要（旧中40）様が元気に発声され始まりました。続いて上京者の紹介があり、本年度総会担当の38回土井正治実行委員がお礼を、来年度の39回を代表して香川弘行実行委員長が「繫-TSUNAGU」を合言葉に仲間と一緒に最後までやりとげたいと、熱いバッションをこめた宣言がありました。

余興のコーナーでは、織田祐輔こと江頭孝康の演歌の歌謡ショーで爽やかな笑顔と歌声に聴衆は魅了されました。幕間に高塚光明（高39）さんの有明佐賀空港PRコーナーをはさみ、橋本優子（高39）さんがナツメロイントロクイズを行いました。支部総会の参加賞として全員に配布した「オニザキのすりごま」と「むっぴー君ハンドタオル」と「花ほうろ」が好評でした。

校歌斉唱となり、旧制中学校校歌と小城高校校歌を声高らかに斉唱し予想以上の盛り上がりで予定時間をオーバーしましたが、齊藤副支部長が閉会を宣し、終了しました。

今年も受け継がれた関東の同窓生の絆を、次の回期に伝えたい気持ちでいっぱいです。

（高校39回 江頭 孝康）

## 中京支部

11月12日 名鉄ニューグランドホテル 32名  
中京支部総会を11月12日本部大野事務局長、内野校長はじめ関東、関西支部代表、38・39回の当番の方々等、遠方よりの沢山の応援参加を得て、無事開催出来ました。ただ地元参加が少なく寂しさは隠し切れません。世話役一同反省の日々です。

日常に於いて、東日本大震災が発生し、想定外の大規模な被害をもたらしましたが、目的・目標・希望を持って粘り強く前進していただき、一日も早く復興する事を願っています。

総会二部として、小さい時からの夢・希望だった南極旅行を実現されました、川島公子さんの「南極物語」をスライドを交え、30分ほど講演して頂き、最後にクイズを出して参加者全員の気持ちが一つに成り、大変な盛り上がりのなか終了出来ました。最後に元応援団長の掛声で校歌斉唱し締まりました。

（高校11回 中京支部長 久本 哲義）



## 関西支部

10月16日 ホテルプリムローズ大阪 50名  
七田黄城会副会長、内野校長、久本中京支部長を来賓としてお迎えし、佐賀から駆けつけてくれた38回卒・39回卒の本部総会実行委員の方12名の支援を受け、賑やかな支部総会となりました。

第一部では、5回卒・木崎支部長の挨拶に続き、副会長、校長から祝辞を賜りました。続いて、31回卒・古賀事務局次長から事務局報告がありました。役員改選の年でしたので、10回卒・米田支部長、22回卒・新田副支部長、30回卒・吉谷事務局長が選出され、就任のは



こびとなりました。

第二部では本部総会の様子がDVDで紹介され、第三部の懇親会では佐賀弁による故郷クイズやビンゴゲームで楽しい時間を過ごしました。15回卒・安藤さんの司会による、やや強引？（関西支部の会計には大貢献）で楽しい物品販売では大いに盛り上がりました。

故郷を離れ、心細く過ごす日々も多い中、このように先輩方との交流が持てるのは幸せに思います。関西在住の当番幹事が見つけにくいという状態が続きそうですが、幹事一同、何とかつないでいかなければという思いを強くしました。

（高校38回 南里 一郎）

## 関門・北九州支部

10月29日 リーガホテル小倉 23名

例年参加者が少なく今回はより多くの方に出席して頂けるようにと世話人にて日時等を考えながら準備を進めて来ました。しかしながら黄城会本部・学校側からの御出席を含め20名程度の小規模となりました。こじんまりではありましたが終始和気あいあいとした会でした。故郷・学校・在校生近況等を伺い、在校当時にタイムスリップする事も出来ました。在校生の日々頑張っている姿は頼もしく感じました。今回同窓生と言う絆を元にした人との繋がりの大切さ・ありがたさを改めて感じる事が出来ました。

今後、御出席が増えて以前のようにゲーム・余興等のイベントも出来るようになればと願いつつ、次回での再会を約束し合いながらの散会となりました。

（高校29回 山口 孝美）



## 福岡支部

10月8日 福岡国際ホール 120名

今年度は、高校38回期卒が当番幹事となって会の企画・運営・設営・総会冊子への広告掲載等を行いました。総会同窓会への参加を増やすべく、時間割の見直しや参加型アトラクションを行いました。新しい試みとして、運営活動賛同金を募り、活動資金として運用させてもらいました。総会同窓会開催まではいろいろと課題も多かったのですが、ご出席

頂いた皆様からは「久しぶりに会った仲間達」と有意義な時間が過ごせた」と労いの言葉を掛けて頂き、無事盛会のち終えることが出来ました。これも諸先輩方々の助言や協力の賜物と深く感謝しております。

今振り返るとそれなりに大変ではありましたが、代え難い様々な出会いや体験を得たように思います。大袈裟かも知れませんが、恐らく今回この黄城会に関わっていなかったら再び同期のみんなとは一生会うことも無かったかも知れません。そして、小城からもたくさん同級生や後輩が駆けつけてくれて、38期のスローガンであった『道 未来へと続く黄城の道 受け継がれる黄城の心』は同じ学び舎で過ごした仲間達とは通じ合えるものだと感じました。

2012年度は『繋-TSUNAGU- 心はひとつ つながる黄城魂』と聞きました。過去から現在へ、現在から未来へと毎年積みあがっていく-TSUNAGU-の歩みは確かなものとなっており、その-TSUNAGU-は大きく強く育ち、黄城会の発展に繋がると確信を得た総会でありました。

(高校38回 陣内 晋作)



## 唐津支部

2月5日 唐津ロイヤルホテル 38名

総会では、白石支部長の支部活動の報告と黄城会本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。



次に懇親会では、アトラクションとして当支部の江口さんによるマジックを披露していただいたり、ビンゴゲームで楽しみました。また特別ゲストとして、現在唐津市役所に派

遣中の韓国麗水(ヨス)市職員チョ・ギョンホさんに今年五月から八月まで開催される万博の紹介をしてもらいました。

短い時間でしたが、母校の先輩、同級生、後輩の方と楽しい時間を共有することができました。今後とも、一人でも多くの会員の方の参加を目指して活動していきます。

(高校28回 唐津支部事務局長 鮎川 正博)

## 佐賀支部

11月19日 ホテルニューオータニ佐賀 180名

総会は、山田支部長の挨拶から始まり、来賓祝辞、決算報告、監査報告、38期北島実行委員長の総会お礼挨拶と進み、39期を代表して本部総会のご案内をさせていただきました。厳粛な中にも総勢180名の方がご臨席されているので、賑やかかつ和やかな雰囲気

の総会となりました。懇親会では「観客の笑顔のために」という素晴らしい考えを持たれている、「牛津にわか」さんの大爆笑のステージから、チャリティーじゃんけんゲーム、お楽しみ抽選会、校歌斉唱と大いに盛り上がり、ご臨席の皆様が笑顔で楽しまれているのが、非常に嬉しく感じました。

今回の佐賀支部総会の懇親会の運営にあたり、改めて感じた事はやはり、諸先輩方の黄城会に対する想いの深さです。先輩方が継承してこられた、想いや熱意を私達が引き継ぎ、そして後輩達へと繋ぐ事が一番大事な事だと感じております。

そして何よりも、ありがたく心強く感じたのが39期の仲間達です。「臨機応変」を合言葉に、準備・実施に臨みましたが、お互いが助け合って、色々な場面を本当に「臨機応変」に対応する事で、無事に実施する事が出来ました。

こんな素晴らしい仲間達に出会わせてくれた、小城高校に改めて感謝した1日でした。

(高校39回 香川 弘行)



## 多久支部

2月12日 北多久町公民館 100名

当日は、晴天に恵まれたものの、非常に強い寒波の中、本部から岩松会長様、高校から内野校長先生のご臨席を賜り、総勢約100名の参加を得て、厳粛な中にも和やかな空気の溢れる第24回の支部総会となりました。

第二部では、郷土芸能として、前年度9月

より発足し、日々稽古に励んでおられる多久東部太鼓保存会の発足間もないとは思えない程の素晴らしい演奏をいただいたところで、他の行事の合間を縫って出席いただいた相談役横尾市長の挨拶をはさみ、東多久出身であり、親子で活動されている夢楽人のギター演奏を堪能しました。

第三部になりますと、先輩後輩交わり、高校当時の話から本総会の当番回期の話など、懇親を深めながら、先輩方の余興も大いに宴の場を盛り上げて頂きました。

多久支部総会の開催にご協力、ご賛同いただきました多くの方々に感謝を申し上げますとともに、同じ多久の地を抛り所とする同窓が一堂に会する貴重な時間であったと感じておりますし、今後の益々の盛会を願う機会となりました。(高校38回 岸川 新)

## 県庁支部

10月21日 グランデはがくれ 51名

黄城会本部からは岩松会長、小城高校からは内野校長先生(高校23回)、そして、県議会からは伊東県議、藤木県議のご参加をいただき、学生時代の昔話や近況報告に花を咲かせ、賑やかな総会となりました。また、平成24年度の黄城会総会の実行委員(高校39回)5名を迎え、来る5月3日の黄城会総会の開催に向けた頼もしい決意と抱負を聞きながら、会員一同、24年度の総会を期待し参加を誓い合いました。

なお、今回の総会では、支部長及び幹事長が交代しました。伝統ある黄城会県庁支部の支部長を馬場会長からお引き受けしましたが、身の引き締まる思いでございます。黄城会本部の皆様をはじめ、会員皆様の御協力と御支援をお願いいたします。

さて、佐賀県庁では、昨年の東日本大震災に際し、いち早く「佐賀きずなプロジェクト」を立ち上げ、被災された方々への救援物資等の支援をはじめ、被災者の受入などに取り組んでおります。これに加えて、被災地の道路や河川などの応急復旧のため、県職員を被災地に長期的な応援派遣を行っております。この度の災害に際しましては、県民の皆様方の御協力と御支援ありがとうございます。県では引き続き東北の復興を支援してまいりますので、御理解と御支援をお願いいたします。

今後とも、母校と黄城会の発展を祈念します。(高校27回 県庁支部長 大坪広幸)





高校14回  
森永 四郎

昨年の総会の当日。会場へ行く前に私は、一週間前の4月27日に急逝した『江里口聰』君の家を訪れた。「聰、今日は総会の日ぞ、今から行って来っけん。来年は50周年。壇上に100人以上集め、盛大な同窓会にすっぞ。約束する」彼の遺影に誓い総会の会場へ向かった。10年前迄の総会は、毎年10人程度の寂しい出席者だったが、東京の八丈島の中学校の校長を退職し、奥様の「良子」さんを伴って小城の地へUターンしてきた「青柳隆」君が、先述の「聰」君から評議員を引き継ぎ、会員券の販売や、総会への積極的な参加を呼びかけ毎年30人前後、多い時は50人近い年もあった。又ここ数年は、当番回期の方々のご好意で、教育会館の3階での「まんじゅう会」が恒例となっていた。その「まんじゅう会」の席で、青柳君が、高らかに宣言した。「来年の総会では、各自が3～4人の同級生を誘い、声をかけられた人が1人でも連れて来れば100人は絶対集まる。絶対に100人以上を集めよう。」具体的な内容や、今後のスケジュールについては、お盆過ぎに決めようと約束し散会した。6月に郵便局の振替口座を開設し、9月に第一回目の会合をした。実行委員長は、私、森永が担当し、事務局長に「青柳」君と「福島治恵」さん。会計に「山口不三恵」さんとその他数人の実行委員を決めた。いずれも声をかければ直ぐに寄れる小城市の人達ばかりだった。(1) 同窓会を5月2日、午後6時より、唐津ロイヤルホテルで開催する。(2) 同窓会は欠席しても、総会には出席する。(3) オプションとして一泊旅行を、阿蘇方面か別府方面で企画する、の大筋の案が決定した。ところが、プランを依頼した旅行会社の料金が、思いの外高く、県内外の人達からのクレームが多く、最終的に、(1) 同窓会を佐賀市の「グランデはがくれ」に変更し、(3) のオプションも、古湯温泉一泊に変更した。それぞれの料金を設定し、10月に文面を作り、11月末に全国の同級生の元へ発送した。最初の頃は、出席と欠席の半々の割合で心配な毎日だったが、12月下旬頃に少し明りが見え始め、1月末には、安心から自信へと変っていった。ところがその頃、大問

題が発生した。会員券の問題だ。私を含め、事務局の大半が、我々卒業50年の回期は招待されるものと思こんでいた。従って会員券を購入するとは思ってもしなかった。「さあ、どうする？」予めいくらかの費用を上乗せした料金を設定はしていたが、参阡円を捻出するのは困難で、結局当日会場で二阡円を徴集することで決定した。紆余曲折を経て、最終的に(1) 同窓会に参加する人が103名。(2) 総会に出席し壇上に上る人が120余名(3) 一泊旅行の参加者が30余名。となった。5月2日の同窓会当日、私と青柳君は3時過ぎに会場に到着。設営中の会場には、ピンクの桜の花に縁どられた「卒業50周年記念同窓会」の横断幕が飾られ、懇親会の余興で大活躍を期待される、大坪文彦君と尾西勝利君が、ギターとマンドリンの音合わせの最中だった。司会を担当する「江口善子、太田幸江」のペアも入念な打ち合わせをくり返していた。「北は北海道から、南は沖縄まで」はよく言われる言葉だが、まさに我々の同窓会は、北海道の「石隈一彦」君から沖縄の「野田桂子」さんを始め全国から103名が集まり大盛況。「記念写真」を撮影後、開会を前にして、明日の総会での集合場所、集合時間、その他の連絡事項の説明後、判明している「物故者」への黙祷をささげ、午後6時より開会となりました。「福島治恵」、「山口不三恵」両名のそれぞれの祝舞、又司会を担当した「江口善子」さんの「南京玉すだれ」それに関東でカラオケ教室の先生をし、自身もキングレコードからCDを出している「村木佑子」さんのプロ？顔負けの熱唱、等々いずれも見事な演芸でした。その後のカラオケや、飲んで、騒いでの語り合いで、あっと言う間の3時間です

た。翌日の総会は心配された雨もなく、9時に集合し、最前列に120余名が集まりました。第一部総会が始まり、校旗入場では、関東から「貞松洋征」君「徳勝秀俊」君の両名が。関西から「福井直大」君、「水田紀昭」君の両名、又女性の「植竹百合子」さん「田中ミチ子」さん等総勢9名が「旧中」、「高女」、「新高」の校旗を手に登壇した。第2部の「黄城の集い」では恩師紹介で、同期の「中島隆次」君も紹介された。そして「卒業50周年を祝う」では我々高校14回卒と本校定時11回卒が紹介され壇上に全員が並ぶ事が出来ず、上下に分かれての登壇となりました。途中、写真を撮る撮らないで皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。第3部のアトラクションでは小城太鼓の迫力ある演技に心打たれ、又小城高校吹奏楽部の生徒諸君の演奏にも酔いしました。そして最後の織田祐輔君の歌謡ショー、何と彼は我々が25年前の実行委員の時にデビューし、「まんじゅう会」の会場でデビュー曲を唄ってくれました。当時は「江頭二郎」の名前だった。その年の関東支部総会へ総会のお礼を言った後に都内の某所で同期ばかりの同窓会をしていたら、どこで聞きつけたのか、マネージャーを伴ってかけつけてくれ、一同感激した思い出がある。歌唱力は一流と思うので、是非ヒット曲を出して欲しいと思う。その後「まんじゅう会」に集い教育会館2階で又々思い出話に花を咲かせた。我々同期は今年から来年3月迄に、皆が「古希」を迎える。かぞえの70歳は戦前迄は本当に希(マレ)だったとのこと。まんじゅう会の最後に私は皆の前で言った。8年後の「喜寿のお祝」に又元気で逢いましょう。今の時代は「一病息災」です。「一病息災」で又8年後に！



# 後輩からの一言



## 「人間的成長と感謝」

志佐 悠樹（長崎大学工学部）

私は長崎大学工学部に合格することができました。

この合格は、先生方のサポートや友人の支え、そして、小城高校の伝統の後押しがあったからこそだと思っています。

私は3年間野球部に所属し、その中で技術を磨くだけではなく、『人間的成長』を達成すべく生活してきました。日々の生活においては一日一日を悔いが残らないように過ごしていくことを心掛けました。具体的には今日やれることは必ずその日のうちにやるというふうにしてきました。特に、学習にお

いては、毎時間の授業に集中し、わからない所は先生や友人にその日のうちに聞いてその場で解決するようにしていました。その結果が大学合格と『人間的成長』につながったと自負しています。

入学当初は「感謝」と言われてもよくわからなかったのですが、グラウンド整備や掃除をし続けたことで感謝の心が芽生え、小さなことにも感謝の気持ちを持つようになりました。また、3年の時は地震や津波が東日本を襲い、多くの人が不自由な生活を送らざるを得ないという年でした。そのため私た

ちがいかに恵まれた生活を送ることができているのかということを改めて気づく良い機会になったと思います。そして、野球・勉強に何不自由なく没頭できることに感謝しながら全力で取り組んでいこうと思うようになりました。

この3年間で経験したことを活かして大学でも充実した生活を送りたいと思っています。そして更に『人間的成長』をし、社会に貢献できる人材となりました。



## 「文武一途」

山口 亜祐（福岡教育大学教育学部）

私はこの三年間、勉強と部活の両立を心がけて頑張ってきました。勉強面では、毎日の小テストで満点をとれるよう、日頃からコツコツ勉強をし、定期テストなど一夜漬けにならないようにしていました。部活面では、書写とは違い、創造的・個性的な美しさを追求する芸術的な書道と出会いました。また、技術面だけではなく、礼儀、あいさつ、互いの思いやり、そして、感謝の気持ちを持つことを学びました。たとえ、どんなに技術ばかり磨いても、精神的な部分が洗練されていなければ結果に表れないことも痛感しました。また、課題や生徒会活動の両立は大変でしたが、充実した時間を過ごすことができました。そして、私を大きく成長させてくれたと思います。

私は、中学校の国語の教員になりたいという夢がありました。これまでの書道の経験を生かし、夢を叶えることができる福岡教育大学を書道の推薦で受けることを決めました。試験内容はすべて書道のことでした。部活動を引退し、夏休みから受験に向けての勉強を始めました。授業で習っていない更に専門的な部分は、顧問の先生に尋ね

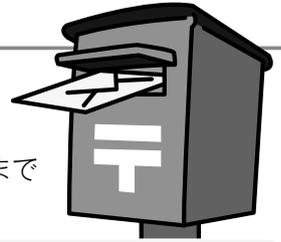
たり、自分で教科書や書道の本を見て勉強をしていました。また、家で勉強の合間を縫って毎日書を書き、朝、先生の所へ持っていき、昼休みに添削してもらっていました。センター試験の勉強も疎かにしてはならず、勉強との両立は大変厳しいものでした。何をしても上手くいかず、辛い時もありましたが、周りの人たちの応援のおかげで乗り越えることができ、合格することができました。私の周りの人たち、成長させてくれた人たちに感謝をしています。

文武一途の精神のもと、黄城会の一員として感謝の気持ちをもち続けたいと思います。



# 投稿

# トピックス



掲載希望の方は事務局まで  
2013年4月締切

## 投稿 “黄城会／小城高 万才！”

高校7回 大池幸二郎

「タイム フライズ ライク アン アロー」(光陰矢の如し!)先般(昨年9月10日)私もアッ!と言う間に満75歳の後期高齢者と成っておりました。

昭和30年春、小城高を卒業し、もう50年が過ぎており、黄城会報への投稿も今回が多分ラストチャンスと、福岡黄城会員(7回生)として満7年振り、迷文!?を提出させて頂きます。(注、1回目は平成元年《アROUND ザ ワールド イン スリー ウィークス/世界1周3週間》、2回目は平成7年の《故郷は遠くにありて想うもの》の題名でした。)

さて、久しぶりに簡単な自己紹介ですが、戦時中、敗色濃厚な昭和19年、沖縄戦の荒波が強くなってきた九州宮崎県西都(三宅国分村)から、安全な西九州の小城(黄城)へ国鉄日豊線、鹿児島本線、長崎線、唐津線と約1日半、ゴタゴタの満員列車を乗り継ぎして、無事、佐賀天山の田園古都!?小城町にたどり着き、翌年の8月15日終戦を迎える事が出来ました。(母の姉達が、小城市内で斉藤肉店と料理屋をやっており、何とか落ち着くことが出来たわけです。)

終戦後、桜岡小、小城中、小城高を経て、草野球や勉学に励み、昭和31年春、東京、都の西北の早大政経に入り、大学図書館で3~4年次は毎晩9時閉館まで、朝

昼食パン1個/牛乳1本の貧食生活で、就職用の成績(優の数30個以上)を目指して小城の母からの1万円の送金で、1ヶ月毎頑張れたことが懐かしく思い出されます。(注、1年と卒業就職時の体重が51キロ~53キロで、大手商社就職して1ヶ月で60キロの一人前(普通)のウエイトになり、超びっくりした思い出があります。(最近のウエイトは63キロ~65キロと、チョイ体重増です!)

さて、総合商社スリーM(三井、三菱、丸紅)の関西系トップの丸紅飯田(現、丸紅)に入社後、主として海外部門(輸出入)で、約23年間、出張/駐在ベースで約30ヶ国(主として、北南米、欧州、東南アジア等)厳しい内戦/クーデターに遭遇し、命の覚悟の半分ほど!?腹(ハラ)を決めた経験もしました。商社退職後、広島(福山)機械メーカー(国際部長)や、福岡市内で専門学校教員の講師(貿易、語学等)数年/数校、経験し、現在は約1年程、九州地場No.1の大手企業で語学(主にスペイン語)講師で何とか頑張っております。休日は、近くの図書館(3~4館)で各種の名著を拾い読みし、ボケ防止に努めております。(哲学、宗教、人生論、歴史、文学、語学、経済、随筆書、等々です。)

特に、現役小城高生達や、黄城会員の

若手さん達に下記、私の是非紹介したい人生勉強の書を紹介いたします!

「菜根譚」(中国 明時代の儒教/人生哲学書 PHP文庫)

「学問のすすめ」(福沢諭吉 先生)

「座右の名言」(齊藤 孝)

「悲しみの効用」(五木 寛之)

「夜と霧」(ビクトール・フランクル)

「道元禅師 読本」

さて、黄城会福岡支部のメンバーですが、毎年秋、博多大丸ビル!?において全員で小城高、校歌(紺碧の空)を高らかに合唱し天山と故郷小城に想いを馳せております。

また、このラストチャンスに私の同期(7回卒)活躍の友人として、斉藤(唐島)君、(関東支部 次長)や、森永君(医師・福岡在)、白石君(唐津支部長)、や小城中からの親友、晴田の中尾君(熊大・大成OB) また先輩6回卒で、平野宗夫氏(九大教授)、伊東浩平氏(九大卒・大成OB)、そして5回卒では、川副富夫氏(九産大前教授・小城市在)大宰府の小寺医師、福岡在の小柳平八郎氏(西日本新聞OB)や松田公平氏(九大卒・極洋OB)東京在、等と現在も交流出来ております。

最後に黄城会の皆様のご健勝を祈念しつつ、また逢える日迄!(アディオスアミーゴ!)

## 投稿 土橋敏孝氏(旧中35回)を偲ぶ

旧中40回 石盛 要

小城市三日月町織島2654にお住まいの同氏は昭和13年、長崎高商(現長崎大学経済学部)に進学、昭和16年、卒業して九州配電(現九州電力)に入社されたが、徴兵のため陸軍に入隊、満州北辺に駐留中、ソ聯軍の進攻を受け、敗戦により武装解除、ダモイ、ダモイと騙されながら、着いた所がモスクワの1500軒南方グルジア(大相撲の黒海出身地)のクタイシ収容所であった。栄養失調で多くの戦友が亡くなる中で、九死に一生を得て昭和22年10月、ナホトカ経由舞鶴へ帰還された。九電に復職されたが、学生時代~兵役抑留中から短歌の趣味を続けられた。数え年90才まで車の運転をするほどお元

気でしたが、平成23年3月27日、永眠されました。享年91。生前、折にふれて詠まれた多くの歌の中から幾首かを順不同で披露して、心からご冥福をお祈りします。合掌

ゲルマンよポリエスキーよロスキーよ  
昇る陽はなお朱きものかな  
ソ満境匍匐の原に乱れ咲く  
花の香嗅ぎし兵の日遙か(腹這い)  
永らえて八十路生きれど憶ひ出す  
抑留異国に墓標なき戦友  
蠟燭の灯許かぼそく「母さん」と  
欧露に逝きし戦友の偲ぶる  
八十五、苦楽の山坂登り来り  
杖なく立てる幸せを識る

広島長崎犠牲の陰に拾ひたる  
兵たりしいのち永らへて米寿  
この湖の夕焼けにしてシベリヤの  
栄枯の姿吾に對せり  
父母に知らせもあらず北辺の  
防人となりて玄海渡る  
板子一枚弾薬と寝て送られし  
兵たりし日をふと想ひおり  
青白き照射を浴びしソ満境  
雪の兵舎に結びし夢路  
醉生夢死とならざる余生立ち向ふ  
老人大学米寿パソコン  
白梅の散り敷く庭に霽降る  
冬の名残りを告げゆくごとく

トピックス

## 第9回ゴルフコンペ

優勝  
池田 俊一 氏!!

毎年恒例の第9回黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が5月20日（日）大和不動カントリークラブに於いて開催されました。総勢48名の参加があり池田俊一氏の優勝で幕を閉じ無事終了することができました。また参加者からチャリティー募金が寄せられましたので贈らせていただきました。

なお上位入賞者の方々は次の通りとなっております。開催にあたって準備等ご尽力いただいた方々誠にありがとうございました。



優勝	池田 俊一	6位	木村 信文
準優勝	水田 信	7位	森 尚文
3位	中山 健二	8位	江口 尚久
4位	光岡 慶秀	9位	鳥越 昌彦
5位	西村 英敏	10位	真崎 俊夫

## 追悼の言葉

黄城会前副会長 志藤茂子さんの突然の訃報に驚くと共に、こんなに早くお別れすることになるとは同窓生一同誰一人として思わなかったことと思います。

黄城会活動では同窓の絆を強め、後輩の発展のために長い間幹事を務められ、その後副会長を務められま

した。その間私達にはわからないご苦労もあったことと感謝します。

私達16回生同窓会では常にお世話役を引き受けて同窓会を盛り上げて下さいました。特に還暦同窓会や京都・箱根へでかけて行った同窓会は忘れられない思い出となりました。

2年後には卒業50周年を祝う同窓

会を控え「元気で集まろう」と声をかけ合っていた矢先の訃報。私達はあなたのことを忘れません。これからも友情を暖め合い、励まし合って生きていきます。どうぞ霊安らかにお眠り下さい。そして私達同窓生を見守り下さい。

## 高校16回 江口磯子

## 一般財団法人黄城教育会館について

財団法人黄城教育会館は公益法人として昭和63年3月23日設立され運営して参りましたがこの度の法律の改正により、平成24年4月1日づけで一般財団法人黄城教育会館として新たにスタートすることと成りました。尚新法人の役員及び評議員については下記の方々が就任されました。

記

- 平成23年12月1日 評議員選定委員 5名  
福山義弘（高2回）大野雅央（高8回）金丸盛登（高9回）  
中尾久司（高13回）福島治枝（高14回）
- 平成23年12月13日 評議員選定委員会 評議員7名  
島松孝夫（高11回）外尾美好（高20回）江里口秀次（高23回）  
野方嘉孝（高24回）古賀一夫（高27回）雪竹 稔（高29回）  
園田秀貴（高30回）
- 平成24年1月17日 評議員会にて理事5名、監事2名選任  
平成24年2月14日 理事会にて理事長、常務理事選任  
理事長岩松要輔（高10回）常務理事七田義孝（高15回）  
理事 野口武男（高11回）川副春海（高26回）井手真喜子（高29回）  
監事 金丸盛登（高9回）松尾剛之（高17回）

## 黄城会総会をおえて

2012年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 香川 弘行 (高校39回)



まずは2012年度・創立113周年黄城会総会実施にあたり、私達39期を支えてご協力下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

皆様方に支えられ5月3日の黄城会総会は、多数の皆様参加を頂き、盛会に開催する事が出来ました。

今年度のスローガンは「繋ぐ〜心はひとつつながる黄城魂〜」でした。スローガンには3つの大きな私達の想いが込められています。

### ①先輩方への感謝

活動をする中で色々な先輩方の話を聞かせて頂き、黄城会に対する想いの深さに心が動きます。これがまさに『黄城魂』だと感じました。『黄城魂』をつないで下さった先輩方への感謝の気持ちを込めています。

### ②後輩達につなぐ

受け継いだ『黄城魂』を後輩達につなぐ。これも大きな役目だと感じています。

私達の想いを伝えれば必ず後輩達も

『黄城魂』を受け継いでくれると思っています。

### ③39期がひとつに

東日本大震災という大変な事が起きました。復興に向けて日本だけではなく、世界がひとつになっている時に、私達同級生400名がひとつになれない訳がない。総会実施に向けて39期がひとつになるという願いを込めました。

この3つの想いを込めてスローガンは決定しました。

活動を行っているとき正直大変な事もありましたが、黄城会にかかわらせてもらい非常に良かったなと感じています。それは仲間達のありがたさ、大切さが改めて分かったからです。一年前の会報で肝臓を患い3カ月入院した私を毎日毎日励まし続けてくれた、仲間達のありがたさは一生忘れないという話を掲載させて頂きました。それから20年以上たった今でも、仲間達は変わらず、私を助けてくれました。

仕事が忙しく黄城会の時間が取れな

くて葛藤していた時期がありました。そんな私を救ってくれたのは39期の仲間達です。「忙しかなら、何とかすっよ」と言って、実際対応してくれる仲間の行動がどれだけありがたかったか、助けられたか、死ぬまで忘れません。

仲間達のフォローのおかげで、総会を盛り上げる事ができ、その後の同窓会では、9名の恩師の先生方も含め、みんなで達成感を分かち合い最高の夜を過ごす事が出来ました。

素晴らしい仲間達に出会わせてくれた小城高校に心より感謝しています。又、仲間の素晴らしさ、大切さを再認識する事も、『黄城魂』と共に40期の後輩達に繋いで行きます。

まだまだ活動は続きますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## 饅頭会を終えて

2013年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 東島 朗 (高校40回)



私は、学生時代、野球部に所属しておりました。毎年、5月3日に黄城会総会が行われている事は知っておりましたが、対外試合ばかりでお恥ずかしい事ですが正直何も知らなかったのです。

会社運営におわれ、人材育成におわれ、走りつづけ、止まり方がわからない時に、39期の先輩方と久しぶりに会える！そのよろこびだけで、話し合いの場に行きました。大好きな先輩達は真剣なまなざし、輝いた目をされていました。卒業して25年がすぎさりこんな目をされている、伝統ある黄城会総会の為に、学生時代のように、いや、それ以上の真剣さを感じました。この黄城魂を私達40期にも受け継がれる伝統を次の後輩達にと……強心にひびき40期代表としてやり遂げたいと思いました。

たしかに不安はありますが、18年程前に南半球のオーストラリアに単身で飛びこみ右も左もどこか言語がわからないのですから、なにもかもがわからない。アパートをかりたくても不動産屋さんがあってもなかなか決まらず、3日目にして、自分自身に「やはり来るべきではなかった」と思い言いきかせました。しかし、もう一方で、何しに来たんだ気合いいれる！と言いきかせる自分もいました。そんな時に高校の時の仲間、電話をかけ、しかも国際電話でコレクトコール。その時に電話に出てくれて、私が当時、たばこをすってしまっていて、「日本のたばこがおいしいよ」と言ったらオーストラリアまで送ってくれました。ある仲間は、カップラーメンを山のように送ってくれました。あまりに希少なものでしたからなかなか手をつけづらくそのままか

ざっていたらルームメイトが「そんな仲間がいるのがうらやましいよ」と言いはじめたのです。私は「はっ」としました。「こんなにしてくれる仲間が日本にいるんだ」とそれから言うもの、あきらめずに異国の地でがんばりました。仕事仕事の毎日でしたが、私が成長した姿を仲間にも見てもらうんだと力んだ事もありました。そんなに自分を追い込んで成長できたのもみんなこの40期の仲間のおかげだとおもっております。

先輩方のご指導のもと40期生が一つになり、饅頭会でみた先輩方の笑顔を来年もみたいと強く思いました。これから来年の黄城会総会の成功にむけ頑張ってください。ご迷惑ばかりかけるとは思いますがよろしくお願いたします。

## 平成24年度黄城会役員一覧

▷**会長** = 岩松要輔 (高10回) ▷**副会長** = 七田義孝 (高15回) 川副春海 (高26回) ▷**顧問** = 内野安成 (校長) 岩村彰 (教頭) ▷**理事** = 石井倫平 (中45回) 内野正久 (高3回) 永池安彦 (高4回) 江里口富男 (高5回) 横田宏 (高6回) 兵働文雄 (高7回) 大野雅央 (高8回) 真子輝雄 (高11回) 小柳平一郎 (高12回) 谷口征一 (高

13回) 森永四郎 (高14回) 梅崎茂弘 (高16回) 松尾剛之 (高17回) 野田和良 (高18回) 小野茂 (高19回) 野田豊秋 (高20回) 田中丸晴雄 (高21回) 坂井一弥 (高22回) 堤覚三 (高23回) 古賀正人 (高24回) 圓城寺猛 (高25回) 横尾俊彦 (高27回) 井手美保子 (高28回) 堤雅彦 (高29回) 岡正幸 (高30回) 安永正 (高31

回) 伊東猛彦 (高32回) 水田信 (高33回) 真崎俊夫 (高34回) 松尾直人 (高35回) 西岡聖師 (高36回) 梶原聖司 (高37回) 北島清孝 (高38回) ▷**監事** = 梶原千尋 (高5回) 金丸盛登 (高9回) 井手真喜子 (高29回) ▷**事務局長** = 大野雅央 (高8回) ▷**庶務** = 山崎史子 (高41回) ▷**会計** = 大場知子 (高37回)

## 支部役員一覧

[**関東支部**] ▷**支部長** = 吉村久夫 (高6) ▷**副支部長** = 齊藤正治 (高7) 南里幸太郎 (高8) 黒澤知子 (高12) ▷**会計監事** = 南川政俊 (高6) 江里口宗男 (高7) ▷**幹事長** = 楢崎進 (高14) ▷**事務局長兼常任幹事** = 川副隆之 (高32) ▷**顧問** = 藤永清子 (女27) 江頭清昌 (高4) [**中京支部**] ▷**支部長** = 久本哲義 (高11) ▷**副支部長** = 庭木利秀 (高7) 川島公子 (高11) 梅谷雅和 (高17) ▷**事務局長** = 江里口多美雄 (高21) [**関西支部**] ▷**支部長** = 米田数英 (高10) ▷**副支部長** = 服部登代子 (高4) 新田安典 (高22) ▷**名誉顧問** = 黒岩澄雄 (中41) ▷**顧問** = 木崎剛明 (高5) ▷**事務**

**局長** = 吉谷弘 (高30) ▷**事務局長** = 古賀和良 (高31) ▷**会計** = 中村貴代香 (高31) ▷**会計監査** = 米満正夫 (高9) [**関門・北九州支部**] ▷**支部長** = 野中榮三 (高3) ▷**副支部長** = 橋間啓人 (高9) ▷**幹事長** = 永山重隆 (高13) [**福岡支部**] ▷**支部長** = 武富一三 (高8) ▷**副支部長** = 池田義實 (高8) 養田喜美代 (高14) ▷**幹事長** = 山口順蔵 (高18) ▷**副幹事長** = 堺八千代 (高25) 古賀省吾 (高26) ▷**監事** = 岡本寿夫 (高10) ▷**顧問** = 牧瀬忠俱 (中37) 吉田英介 (高1) 小柳平八郎 (高5) 伊東浩平 (高6) 小川勇紀子 (高4) [**長崎支部**] ▷**支部長** = 中村利夫 (中37)

▷**副支部長** = 大場勝彦 (高11) [**佐賀支部**] ▷**支部長** = 山田浅雄 (高2) ▷**副支部長** = 梶原千尋 (高5) 安藤真行 (高15) 宮原史枝 (高15) ▷**幹事長** = 江里口勉 (高16) [**唐津支部**] ▷**支部長** = 白石元秀 (高7) ▷**副支部長** = 永渕明則 (高16) ▷**事務局長** = 鮎川正博 (高28) [**多久支部**] ▷**支部長** = 古賀栄子 (女23) ▷**副支部長** = 吉浦啓一郎 (高15) 牛島和廣 (高17) 尾形節子 (高4) ▷**幹事長** = 内野正久 (高3) ▷**事務局長** = 古賀通雄 (高23) [**県庁支部**] ▷**支部長** = 大坪広幸 (高27) ▷**幹事長** = 久本智博 (高28)

## 平成23年4月～平成24年3月までの物故者 (敬称略)

(回期) 氏名 [住所]

(旧中) (23) 古賀 清吉 [佐賀市] (27) 末永 嵩 [長崎市] (27) 深川 義夫 [小城市] (28) 中野 虎雄 [多久市] (33) 坂口 音次郎 [藤枝市] (34) 西山 勇 [横浜市] (35) 千々岩 健児 [千葉市] (35) 馬場 梅雄 [小城市] (37) 永富 賢吾 [北九州市] (38) 古賀 次郎 [杵島郡] (38) 中野 善四郎 [佐賀市] (38) 野口 五男 [多久市] (38) 眞木 善吾 [横浜市] (38) 宮副 俊彦 [佐賀市] (39) 大石 弘 [佐賀市] (39) 中島 敏男 [佐賀市] (41) 田代 利雄 [昭島市] (41) 細川 繁美 [唐津市] (42) 江頭 廉 [佐賀市] (42) 成田 友二 [広島市] (42) 林 輝 [高槻市] (43) 於保 昌二 [熊本市] (43) 野田 明利 [佐賀市] (43) 松岡 武恒 [長崎市] (44) 水田 栄二郎 [船橋市] (45) 池田 善泰 [多久市] (45) 大坪 政義 [小城市] (45) 川副 匠五 [小城市] (45) 合原 保平 [小城市] (45) 森 哲朗 [横浜市] (46) 尾形 善郎 [多久市] (46) 高木 義男 [小城市] (46) 平野 繁行 [小城市] (46) 渕野 晋 [小城市] (47) 副島 誠 [多久市] (高女) (1) 熊 タカ [小城市] (4) 井手 ハツ [小城市] (5) 塚原スガノ [港区]

(8) 伊東 津根 [長崎市] (8) 田中 ソノ [小城市] (12) 小林 フミ [神埼郡] (14) 内田 嘉子 [佐賀市] (14) 光岡 光子 [福岡市] (14) 鷲崎 ツヨ子 [多久市] (17) 林 芳子 [佐賀市] (18) 藤川 タケヨ [多久市] (20) 江頭 ヨシ子 [小城市] (20) 久米本 喜久子 [北九州市] (21) 浜田 キヌエ [唐津市] (22) 尾形 文子 [多久市] (24) 秋元 利子 [福岡市] (24) 北島 ミチエ [小城市] (24) 竹下ツユ子 [佐賀市] (24) 深川 寿美子 [佐賀市] (27) 古賀 教子 [多久市] (27) 古賀 フサコ [北九州市] (27) 副島 久子 [小城市] (27) 真島 千鶴子 [多久市] (高校) (2) 南里 吾一 [唐津市] (2) 兵動 良夫 [小城市] (2) 松尾 敏行 [さいたま市] (2) 宮崎 浩岳 [調布市] (2) 岸川 規子 [多久市] (2) 佐々木 安子 [多久市] (3) 池田 勝彦 [宝塚市] (3) 石井 義昌 [桜井市] (3) 犬塚 典民 [松戸市] (3) 島松 恒行 [佐賀市] (3) 吉田 豊 [三鷹市] (3) 谷口 京子 [佐賀市] (3) 成富 紀久子 [広島市] (3) 西村 けい子 [横須賀市] (3) 真鍋 秀子 [丸亀市] (3) 吉野 まさ [我孫市] (4) 鳥

越 輝夫 [小城市] (4) 服部 寛二 [三養基郡] (4) 木村 道子 [世田谷区] (5) 牛丸 堯 [佐賀市] (6) 崎村 巖 [多久市] (6) 堤 正之 [佐倉市] (6) 山口 龍樹 [多久市] (7) 今泉 伶子 [船橋市] (8) 今泉 徳保 [北九州市] (8) 江頭 隆明 [小城市] (8) 武富 堅城 [東村山市] (8) 音成 直美 [八王子市] (8) 富岡 幸子 [多久市] (8) 花田 悦子 [小城市] (9) 北島 稔久 [茨木市] (11) 西山 隆介 [柏市] (11) 井手 美佐子 [ひたちなか市] (13) 陣内 健次 [小城市] (13) 橋村 剛 [小城市] (14) 山下 晃一 [小城市] (14) 江頭 幸子 [横浜市] (16) 香田 勉 [磐田市] (16) 志藤 茂子 [佐賀市] (17) 内田 昇 [寝屋川市] (17) 松本 勇 [中野区] (18) 井手 三枝 [佐賀市] (21) 中原 仁 [佐賀市] (21) 向井 秀雄 [佐賀市] (22) 小森 喜紹 [小城市] (29) 鍵山 和彦 [小城市] (29) 副島 義功 [小城市] (29) 高木 武郎 [横浜市] (30) 山口 光彦 [多久市] (32) 野中英暢 [筑紫野市] (33) 駄原 泰弘 (定時) (多久定1) 古賀道生 [唐津市] (多久定4) 宮川夫佐雄 [多久市]

## 寄 贈

(平成23年4月～平成24年3月)

**寄付金** 高校30回生一同様 1,700円/高校13回生一同様 (卒業50周年記念) 20,000円/東郷 義太様 (旧中46回) 1,000円/川久保虎彦様 (高校3回) 1,000円/音成芳和様 (高校36回) 1,000円/佐賀支部主催黄城会第8回ゴルフコンペより 20,000円  
**図 書** 旧中46回 石丸虎彦様 友よ2 傘寿80歳 (旧中46回・高校1回卒) 記念誌/榊世界文藝社様 日本藝術の創跡/福岡ユネスコ協会様 FUKUOKA UNESCO第47号/齋丸益也様 (高校2回) 唐津ケーブルテレビ放送DVD 特集79歳現役テニスコーチ・齋丸益也さん (テニスで全日本優勝時の賞状・写真は平成22年寄贈) /フォーラム小城様 ふるさと再発見～小城の歴史～DVD

今年も会員の皆様のご協力のもと、会報「黄城」を発行することができました。封詰めを手伝ってくださった回期の皆様方、ありがとうございました。

多くの会員の皆様のお手元に会報をお届けできますように、各回期・支部・個人の方でご住所などの変更があった場合は、毎年5月末までに事務局までご連絡ください。

黄城教育会館では黄城会会員の同窓会活動による会館使用について無料でご利用いただいております。ご利用の場合は事務局までご連絡ください。

## 平成24年度支部総会予定日

\*平成24年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。  
(時間、会場等は各支部へお尋ねください)

支部名	予定日	氏名	電話
関東	H24 10/20(土)	幹事長 榑崎 進	042-324-5857
関西	H24 10/21(日)	事務局長 吉谷 弘	06-6170-1640
中京	H24 11/10(土)	事務局長 江里口多美雄	052-502-8831
関門・北九	未定	幹事長 永山 重隆	093-771-0081
福岡	H24 10/14(日)	幹事長 山口 順蔵	092-591-2847

支部名	予定日	氏名	電話
長崎	未定	副支部長 大場 勝彦	095-823-0637
唐津	H25 2/3(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
佐賀	H24 10/28(日)	幹事長 江里口 勉	0952-31-9236
県庁	未定	事務局長 久本 智博	090-3070-1609
多久	H25 2/10(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

書聖・中林梧竹没後100年記念事業

### 特別展「書聖・中林梧竹 不朽の書」

会場 小城市立中林梧竹記念館  
小城市立小城公民館  
佐賀県立美術館

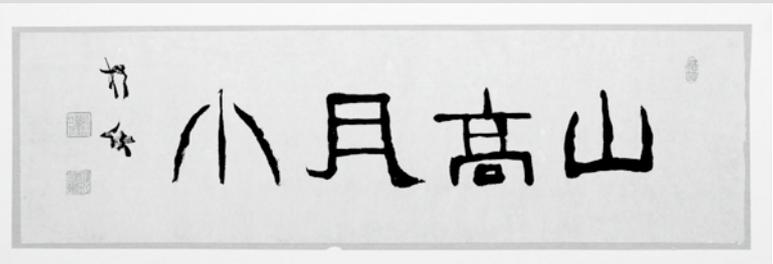
会期 (3会場同時開催)

平成24年12月15日(土)～  
平成25年1月20日(日)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～31日

観覧料 当日券1,000円(前売券800円)3会場鑑賞券  
団体(20名以上)800円  
高校生以下無料

問合せ先 書聖・中林梧竹没後100年実行委員会事務局  
(小城市教育委員会文化課内)  
☎0952-73-8809



### 回期便り、募集します

各卒業年次別の回期便りを平成21年度から会報に同封しております。

昨年は、20回期ほどの回期の幹事(理事、評議員のみなさま)さんから、回期便りを作成して頂きました。今後も、同級生の身近な通信を、幹事さんに作って頂き、配布していこうと計画しております。作成は大変でしょうが、よろしくお願ひ申し上げます。

### 平成23年度 黄城教育会館育英奨学生

平成23年度の黄城教育会館育英奨学生は3学年合わせて12名でした。3年生の進学状況は佐賀大学2名、大分大学に1名、鹿児島大学に1名決まりました。

### 編集後記

今年の夏も暑いようですね。節電、節電と言われていますが皆さんは節電対策どのように考えられていますか? エアコン生活に慣れている者にとってはつらいですね。今、いろんな節電グッズがあるみたいですね。わたしは昨年シーズンオフに買った扇風機を活躍させたり、寝るときなんかはアイス枕が気持ちいいですね。体調を壊さない程度に節電に心掛けたいですね。(事務局員)